

ときめき 美人

—培広庵コレクション名品展

展覧会名: ときめき 美人—培広庵コレクション名品展
会 期: 2024年1月7日[日]~2月18日[日]
会 場: 佐野美術館
開館時間: 午前10時~午後5時(入館の受付は午後4時30分まで)
休 館 日: 木曜日
入 館 料: 一般・大学生1,100円 小・中・高校生550円 * 土曜日は小中学生無料
主 催: 佐野美術館、三島市、三島市教育委員会、Daiichi-TV
後 援: 静岡県教育委員会
協 賛: 伊豆箱根鉄道株式会社
特別協力: 培広庵
協 力: ヤマト運輸株式会社

展覧会の趣旨

佐野美術館は、2024年1月7日[日]から2月18日[日]の期間、「ときめき 美人—培広庵コレクション名品展」を開催します。

明治時代末期から昭和にかけて隆盛を誇った美人画。

京都の上村松園(1875-1949)や菊池契月(1879-1955)、東京の鏑木清方(1878-1972)や山川秀峰(1898-1944)、大阪の北野恒富(1880-1947)や島成園(1892-1970)、そして竹久夢二(1884-1934)。当世を代表する画家たちそれぞれが、独自に女性の美しさを探求し、多くの名品を生み出しました。

本展は、珠玉の美人画で知られる培広庵コレクションを中心に、四季の情景とともに描かれた女性像の傑作、約70点を紹介します。

新春の訪れとともに、心ときめく美の世界をご堪能ください。

展覧会のみどころ

日本画の四季の表現は多彩で繊細です。桜を愛で、夕涼みに憩い、夜長の読書にもの思い、舞う雪に見入る。しつらえや装いのみならず、女性たちの表情やしぐさにも折々の情感が備わった美人画は、日本人が抱く美意識を象徴しているともいえましょう。

展覧会は春夏秋冬をテーマとする4章で構成し、美人画の巨匠たちの競演をご覧ください。

また、特集展示「ものがたるすがた」では、渡辺省亭の肉筆画や、鰭崎英朋の木版口絵などを展示します。佐野美術館の所蔵作品より、四季の草花をデザインした同時代の装身具もあわせてお楽しみいただけます。

画家たちが追い求めた女性美を、みなさまもぜひ再発見してください。

展覧会の主なイベント

- ◆培広庵氏のコレクションよもやま話 1月7日[日]
- ◆ときめき美人展の見どころ&特別鑑賞講座 1月27日[土]
- ◆学芸員のミニギャラリートーク 1月13日[土]、2月10日[土]
- ◆隆泉苑 春の特別公開—培広庵コレクションの美人画とともに 2月3日[土]、4日[日]

広報用画像

本展の紹介記事等を掲載される場合、1～6の画像をデータでご提供できます。電話またはメールでご連絡ください。電話またはメールでご連絡ください。

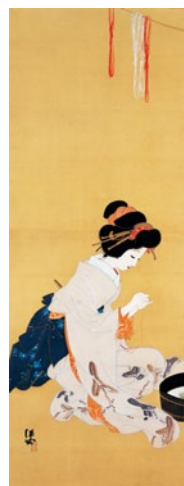
※画像掲載をする場合、作品クレジットの明記をお願いします。



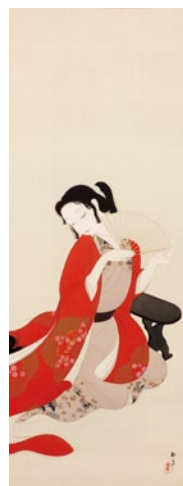
1.



2.



3.



4.

1. 上村松園《桜可里能図》 昭和10年(1935)頃 培広庵コレクション
2. 山川秀峰《安倍野》 昭和3年(1928) 培広庵コレクション
3. 北野恒富《願いの糸》 大正3年(1914)頃 培広庵コレクション
4. 菊池契月《元禄美人》 大正末期 培広庵コレクション
5. 石井滴水《後の月》 明治40年(1907)頃 培広庵コレクション
6. 竹久夢二《投扇興》 大正6年(1917)頃 培広庵コレクション



5.



6.

お問い合わせ

佐野美術館 広報グループ 深沢

〒411-0838 静岡県三島市中田町1-43 TEL 055-975-7278 FAX 055-973-1790

URL <https://www.sanobi.or.jp/> EMAIL koho@sanobi.or.jp